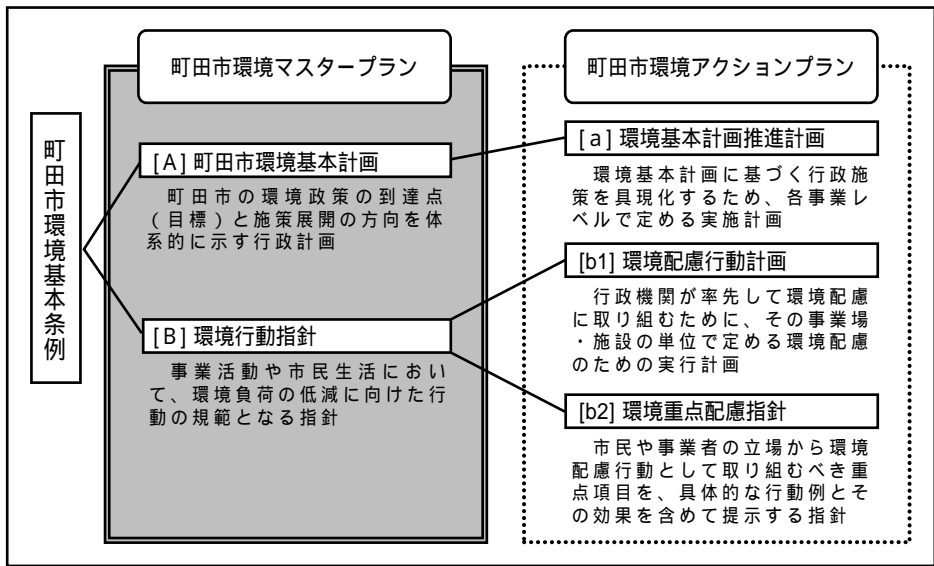


谷戸山のみどりがつなぐ環境文化都市を目指して

環境マスタープランの構成



■で示した部分がこの計画書に該当する。

# 町田市環境マスタープラン 「町田市環境基本計画・環境行動指針」 を策定しました

2002年3月、市では良好な環境の確保に向けて総合的な取り組みを展開していくために体系的に今日の課題を整理し、環境基本計画と環境行動指針からなる根幹的な計画として、町田市環境マスタープランを策定しました。

(1) 策定までの経緯  
市では、良好な環境を保全・回復・創造するとともに、環境への負荷の少ない持続可能な発展を支える循環型社会の実現を目指して、2000年12月に町田市環境基本条例を制定しました。

この条例では、将来にわたって環境権があることを明確にするとともに環境の保全等に向けた基本理念や行政・市民・事業者等の責務などについて規定しています。

また、環境基本計画と環境行動指針の策定についても義務づけられており、2000年度から、市民や事業者の方々の参加を得ながら検討を進めてきました。

(2) 策定の意義と位置付け  
「環境は共有するものである」と、「また、将来世代も含めた誰もが良好な環境を享受する権利を有すること」が深く認識されなければなりません。そして、この共通理解のもと、問題を深刻に受け止め、自らが行動し、身近な地域に置いてはもとより、地球環境全体を保全・回復し、より良好な状態にして将来世代に引き継ぐことを目指さなければなりません。町田市環境マスタープランを策定した意義はまさにここにあります。

町田市環境マスタープランは、市における環境計画全体の中核をなすもので、行政施策の方向を示した「町田市環境基本計画」と、事業活動や市民生活における環境配慮の方向を示した「環境行動指針」により、構成されています。

各計画の位置づけと役割は下図「環境マスタープランの構成」とおりです。なお、環境アクションプランは、このマスタープランを軸に推進していくため、具体的な事業計画を示す5カ年計画であり、現在検討を進めています。

(3) 環境基本計画の内容  
町田市環境基本計画では、将来の望ましい環境像とその実現に向けた基本目標を定めました。さらに、この基本目標に従って施策の大綱と施策の基本テーマを設定し、市の環境政策の到達点(目標)と施策展開の方向を体系的に示しています。

「望ましい環境像」  
市は、首都圏有数の商業都市、住宅都市として、発展してきましたが、一方で、多摩丘陵の豊かな自然環境を有するまちとして、特に町田の特徴とも云える「谷戸山」では、自然の営みをうまく取り入れた「循環型」の暮らしによって、古くから人と自然が共生

してきました。

この多摩丘陵で培われた環境文化がこれからの生活スタイルに取り入れられ、暮らしの潤いとして還元されるまちをイメージして、将来の望ましい環境像を「谷戸山のみどりがつなぐ環境文化都市」としました。それは、「谷戸山」での暮らしに学ぶなかで、行政はもとより、様々な価値観と個性を持った市民・事業者・在勤在学者等が手をとり合い、環境パートナーシップのもと、環境への負荷を低減していくとともに、多摩丘陵の豊かな水と緑を守り、育て、安心して暮らせる環境を次世代へと引き継いでいくことにほかなりません。

「環境基本計画の基本目標」  
1 地球環境の循環システムの復元(環境への負荷の少ない循環型社会の構築)  
2 「3R」問題の解消、廃棄物の適正処理の推進と資源再利用の促進  
3 自然環境の質的な向上(自然環境・歴史的文化的環境の保全と回復)  
4 安心して暮らせる環境の確保(公害の防止及び快適生活環境の創造)  
5 環境配慮行動の定着(環境にやさしい生活スタイル・社会経済スタイルへの転換)

(4) 環境行動指針の内容  
環境行動指針では、環境基本計画と整合する形で5つの基本目標を設定し、これに沿って環境負荷の低減に向けた行動の規範を体系的に示しています。市民生活における環境配慮を市民編として、事業活動における環境配慮を事業者編として、具体的な行動事例を交えて示しています。

「環境行動指針の基本目標」  
1 環境にやさしい循環型社会をつくり出す  
2 しみよめる環境への負荷を減らします  
3 自然環境を良好に保ちます  
4 快適なまちをつくり出す  
5 環境へのやさしさを伝えます

町田市環境マスタープランの詳しい内容につきましては4月16日から、市政情報やまひこ(中町分行舎)及び市内各図書館で、閲覧できます。また、市政情報やまひこでは、計画書の頒布(1冊1400円)も行います。

環境保全課 ☎724・2711

## 京王線多摩境駅・小田急線鶴川駅 にエレベーターが設置されました



京王線多摩境駅

市では高齢者・障害者・子育て世代等が鉄道駅を安全・快適に利用できるように、東京都・国の補助制度とあわせて事業者に補助をすることで鉄道駅のバリアフリー化を進めています。

3月19日には多摩境駅、23日には鶴川駅のエレベーターが各鉄道事業者の施工により完成し、使用を開始しました。多摩境駅は、改札階と上下線各ホームをつなぐ11人乗りエレベーター2基が設置されました。鶴川駅は民営の鉄道駅

## 春の花の散策 町田ぼたん園

薬師池公園の北に位置し、豊かな緑に囲まれた「民権の森公園」内にあります。

園内は175種1100株のぼたんが植栽されています。

開園期間 4月15日(月)～30日(火)まで(期間中は無休)

開園時間 午前9時30分～午後

4時 荒天時は休園します。

入園料 一般=500円、中・高校生=200円、小学生以下無料

交通 小田急線町田駅北口P.O.ビル先21番乗り場から本町田線「野津田車庫」行き、または「鶴川駅」行きバスで「薬師ヶ丘」下車、徒歩7分

駐車場が少ないため、休日は大変混雑します。なるべくバスをご利用下さい。

町田ぼたん園 ☎736・447

## 町田えびね苑

エビネ、キエビネ、タカネエビネなど8種類10万株のエビネが群生しているほか、クマガイソウやクリンソウなどの野草も観賞できます。

開園期間 4月21日(日)～5月6日(休)

開苑時間 午前9時30分～午後4時(入苑は3時30分まで)

入苑料 一般=300円、小・中・高校生=100円

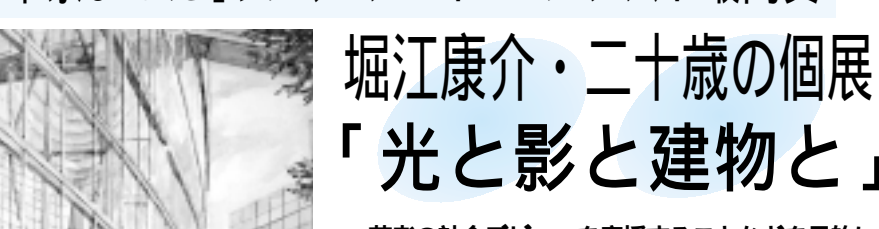
交通 町田バスセンター1番乗り場から「藤の台団地」行きバスで「藤の台団地」下車、徒歩5分

駐車場はありません。

荒天時は休園します。

開苑期間中は町田えびね苑管理事務所 ☎724・1668、または公園緑地課 ☎793・7611

## 「二十祭まちだ」ヤング・アート・コンテスト最高賞 堀江康介・二十歳の個展



東京国際フォーラム

若者の社会デビューを応援することなどを目的に開催された今年の成人式「二十祭まちだ」。この一環として行われたヤング・アート・コンテストで見事、最高賞を受賞した堀江康介さん(東京芸大建築学科1年)の初めての個展です。東京国際フォーラム、同潤会アパートなど時代の空気を伝える建物や、多摩丘陵の風景を描いた作品約20点を展示します。

日時 4月13日(土)～21日(日) 正午～午後7時

会場 街かどギャラリー(原町田四丁目、町田市民フォーラム近く)

問 社会教育課 ☎724・2181